

平成26年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)実績報告書

平成26年10月22日

独立行政法人 日本学術振興会理事長 殿

		課題番号		2	6	0	0	1	3
主催団体所在地	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館3F								
主催	公益社団法人日本雪氷学会	代表者職名	会長						
団体名		代表者氏名	中尾 正義 						

平成26年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)研究成果公開発表(B)について、下記のとおり補助事業の実績を報告します。

シホ・シウム・学術講演会名	雪氷から防災を考える ー雪氷楽会 in 八戸ー				
実施主体 (支部等)	事業委員会	代表者職名	事業委員長		
		代表者氏名	河島 克久		
開催日	平成26年9月23日(火)～平成26年9月23日(火) (1日間)				
会場名	八戸ポータルミュージアム「はっち」 開催地:青森県八戸市				
参加者数 (※交付申請書に記載した参加予定者数)	646人				
	(800人)※				
費目別収支決算表					
実支出額の 使用内訳	合計	会場借料	消耗品費	人件費・謝金	その他
	700,000 円	44,280 円	520,591 円	22,490 円	112,639 円
交付申請書 に記載した 補助金の 使用内訳	合計	会場借料	消耗品費	人件費・謝金	その他
	700,000 円	50,000 円	150,000 円	100,000 円	400,000 円

シンポジウム・学術 講演会の目的	日本雪氷学会は、雪氷や寒さに関わる研究と雪氷災害の軽減を目的として発足し、研究対象は降積雪、極地雪氷、海氷、克雪・利雪、さらには地球環境科学や宇宙の雪氷現象にまで広がっている。雪や氷を対象とした各種のイベントでは、雪氷現象の基礎過程、雪氷災害の原因解明・防災対策についての啓発活動を行ってきた。毎年、研究大会が開催される都市において子供向けの科学イベント「雪氷楽会」を学会全体の行事として実施している。 平成 26 年度の研究大会は青森県八戸市で開催される。八戸市をはじめとする東北地方は、東日本大震災によって深刻な被害を受けており、住民には地震と津波の記憶は色濃く残っている。また雪氷災害も毎年数多く発生している。このために国民にとっては防災への意識の重要性が高まると共に、小中学生に対する防災教育の重要性も同様に叫ばれている。 そこで八戸市において、学会員が講師となって雪と氷を主な題材とした防災科学イベント「雪氷から防災を考える－雪氷楽会 in 八戸－」を開催する。このイベントの目的は、災害のメカニズムや防災対策等をわかりやすく伝え、防災意識の向上を図ることである。小中学生は次世代を担う年齢層であり、これからの防災に対して中心となっていくべき世代であるので、早い段階から防災への意識を持ってもらうことを期待している。
シンポジウム・学術 講演会の概要	当該事業では、9 月 22 日の午後 6 時より会場の八戸市にある八戸ポータルミュージアム「はっち」にて、翌 23 日の準備に取り掛かった。各出展者・展示者は会場の設営、それぞれの準備をボランティアのメンバーなどと共にを行った。当日の 23 日には午前 9 時に会場に集合し、各自準備を開始した。午前 10 時に開会となり、午後 3 時まで開催された。 本事業では、27 件の出展・展示があった。当該事業のキーワードである「雪氷と防災」をわかりやすく表現するために、自然現象・災害現象を講師手製の装置を用いて再現し、自然現象・災害を「見て」、「触れて」、「体験」することを通して、自然現象の基礎メカニズム及び自然災害の原因を理解する内容である。形態として、ミニ実験、サイエンスショー、DVD 上映などが行われた。また東日本大震災からの復旧・復興をテーマとした内容も組み込んでいる。同時に、学会および協力団体等による震災への対応や取り組みを紹介するパネルを展示し、参加者への解説を行った。なお、参加者には、実験などの内容をわかりやすくまとめた解説書を配布した。以下に出展の一部を載せる。 ・ 液状化を知る「エッキー」をつくろう ・ 雨や風はどうやってはかっているのか？ ・ 雪から鉄道を守る－科学映画「雪にいどむ」上映－ ・ しんさいからたちあがる蕉島（はちのへし） ・ 三八地域の気候特性 ・ ミニチュア模型を使って吹雪実験をしよう！ ・ 地震雪崩に備える 本事業における宣伝・広報活動は、8 月より八戸市内の小学校をはじめとする関係各所にチラシやポスターを配布した。また、当日は「はっち」内のスタジオで行っている FM ラジオの生放送にスタッフが出演し、来場の呼びかけを行った。その結果、小中学生を中心に 600 名を越える参加者があった。

主催団体の 事務 連絡者	〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館3F TEL:03-5259-5245 所属・職名 公益社団法人日本雪氷学会・事務局長 氏名 兒玉 裕二 FAX:03-5259-5246 E-mail: jimuseppyo.org
--------------------	--